

もっと知ろう
もっと学ぼう 郷土のこと!!

物知りおじさんの ふるさと情報

耳より 今月の物知りおじさん
平出 恭二さん
(上矢作町) 77 歳

街道きっての難所を訪ねて

「美濃の大馬渡、尾張の坂瀬、碓氷峠がなくばよい」これは生活物資の輸送を主とした中馬街道の一つ、名古屋ー瀬戸ー柿野ー陶ー明智ー上矢作ー根羽ー飯田を往来する馬子たちが歌っていたといわれる「中馬馬子唄」の一節です。中馬馬子唄で碓氷峠が出てくるのは、中馬街道で大馬渡と坂瀬が、中山道の碓氷峠に肩を並べるほどの難所だと語りかけているようです。街道は上矢作町漆原区の石地蔵の近くに立つ道標から、大馬渡峠に向かいます。ここからの山道が難所といわれる急な坂道です。流れ下る沢を左手に見下ろしながら時々爪先に力を込めて進みます。登り口から峠までが約 1500メートル、その間の標高差約 350メートルです。しかも谷川沿いの道は狭く落石の危険もあります。通常、馬子が追う馬は 3、4頭を連れ、一頭の馬が背中に付ける荷は 100～120キログラム程です。この急な坂道が馬や馬子たちにとってどれほどの難儀な場であったか。とりわけ夏の暑い日や大雨の日など、それは大変な苦闘の連続であったに違いありません。場面に思いをはせると馬子の叱咤の大声や馬の荒い鼻息が聞こえてくるようです。そんな時、唯一の救いは「馬の水飲み鉢」の水でした。馬も馬子もこの水に力を得て、奮い立って峠に向かったことでしょう。年号や「牛馬安全」などと彫られた大きな石の鉢が 3カ所にあります。いずれもその加工や設置には相当な手間と費用が掛かったものと思われます。峠に向かう道端には数体の馬頭観音も安全を見守るかのようたたずんでいます。街道きっての難所は、生活物資や情報往来の陰に、馬や馬子たちの苦難と村人の支援の姿を垣間見た大馬渡峠への坂道でした。



開催日	内容
7月16日(日)	恵那市読書の日 エナブックスカフェ (午前 10 時) ミニ茶会 (午後 2 時) 図書館見学 (午後 3 時) ふるさとギャラリー「川辺のしぜん」(8月31日まで)
17日(月/祝)	
18日(火)	休館日
19日(水)	
20日(木)	修理本ボランティア活動日
21日(金)	こども司書講座 (午前 9 時半)
22日(土)	おはなし会 (午後 2 時) 子
23日(日)	修理本ボランティア活動日
24日(月)	休館日
25日(火)	おはなし会 (午前 10 時半) 子
26日(水)	古文書勉強会 (午前 10 時)
27日(木)	修理本ボランティア活動日
28日(金)	こども司書講座 (午前 9 時半)
29日(土)	おはなし会 (午後 2 時) 若手社員セミナー 子
30日(日)	ゴーヤの食べ方自由自在 (午後 1 時半)
31日(月)	休館日
8月1日(火)	おはなし会 (午前 10 時半) 子
2日(水)	
3日(木)	修理本ボランティア活動日
4日(金)	こども司書講座 (午前 9 時半)
5日(土)	らくごを楽しむ会 (午後 2 時) 子
6日(日)	農高生によるおから講座 (午後 1 時半) 七夕ミニコンサート (午後 3 時)
7日(月)	休館日
8日(火)	おはなし会 (午前 10 時半) 子
9日(水)	
10日(木)	修理本ボランティア活動日 おやこ図書館見学 (①午前 10 時、 ②午後 1 時半)
11日(金/祝)	
12日(土)	夏のこわ〜いおはなし会 (午後 2 時) 子
13日(日)	修理本ボランティア活動日
14日(月)	休館日
15日(火)	おはなし会 (午前 10 時半) 子

子：こどもたいむ実施日

6月の来館者数

20,388人
(前年同月 28,923人)

6月の貸出冊数

26,019冊
(前年同月 25,166冊)



募 集

ここにもあった！恵那の城跡

こんなところにも城があったのか?! 古地図や地名から市内の城跡を探ります。

□とき 8月27日(日)午後1時～3時半

□ところ 市中央図書館

□定員 30人(先着順)

※申し込みが必要です

市中央図書館の開館を記念



▲働く車が大集合

読書の日イベント・はたらく車とおはなし会

消防車やパトカー、ごみ収集車、建設機械などいろいろな車が大集合。午前と午後で車両が入れ替わります。スタンブラリーに参加すると特製し



▲かわいいブンさんクンたん

して、毎年さまざまなイベントを開催しています。開館10周年の今年もイベント盛りだくさんで開催しています。

ブンさんクンたんイラスト展

市中央図書館の開館とともに誕生したキャラクター「ブンさんクンたん」。作者で市内在住のイラストレーター、こらあたりさんの描いた、イラストを展示しています。

□とき 7月30日(日)まで

新しく入った本ピックアップ

(5月16日～6月15日に受け入れた新刊は 507 冊)

身近な道具で手づくりの本

関典子／著
弘前大学出版会

オリジナルの絵本や画集、ノート、アルバムなどを作るためのくすみ製本や折本といった基本的な製本方法を解説。比較的手に入りやすい道具や材料を使った方法を紹介する。

●一般書

- ▶あたらしくておいしい和のおかし 白砂糖・小麦粉を使わない和菓子レシピ (黒岩典子／著、世界文化社)
- ▶全国の犬像をめぐる (青柳健二／著、青弓社)
- ▶書のひみつ (古賀弘幸／著、朝日出版社)
- ▶あなたの人生を変える雨の日の過ごし方 (美野田啓二／著、文響社)

●児童書

- ▶学校へいきたい! 世界の果てにはこんな通学路が! ザヒラ モロッコの12歳 (飢肥紀／編訳、六耀社)
- ▶アルバートさんと赤ちゃんアザラシ (ジュディス・カー／作・絵、三原泉／訳、徳間書店)
- ▶空をけつとばせ (升井純子／作、講談社)

●絵本

- ▶海のぶかぶか ただよう海の生きもの (高久至／写真、寒竹孝子／文、アリス館)
- ▶ヒルダさんと3びきのこざる (クエンティン・ブレイク／文、エマ・チチェスター・クラーウ／絵、徳間書店)
- ▶つまんないつまんない (ヨシタケシンスケ／作・絵、白泉社)

市中央図書館ウェブサイトから全ての新刊本がチェックできます

七夕ミニコンサート

キラキラ星から真田丸まで、子どもも大人も楽しめる曲をピアノやバイオリン、クラリネット、サクソフーンを使って演奏します。

いつもの静かな図書館とは違った雰囲気を感じてお楽しみください。

□とき 8月6日(日)午後3時

□ところ 市中央図書館

おはなし会

8月の土曜日に開催するおはなし会は、夏休み特別編として2階セミナールームで開催します。子どもだけでなく、大人も一緒に楽しめる企画を用意しています。

らくごを楽しむ会

□とき 8月5日(土)

□時間 午後2時～2時半

□ところ 市中央図書館

内容 演目は「元犬」「猫の皿」など、子どもも大人も楽しめる内容ですので、ぜひお越しください。

夏のこわ〜いおはなし会

□とき 8月12日(土)、19日(日)

□内容 くら〜い部屋で、こわ〜いおはなし。あつ〜い夏でも背すじがひく〜んやり。

大井町に伝わる昔話(紙芝居)

□とき 8月26日(土)

□内容 大井町に伝わる昔話を紙芝居で披露します。

共通